

機械加工研究会代表幹事（国立研究開発法人 森林総合研究所）

伊神祐司

機械加工研究会では毎年、木材学会年次大会にあわせ、総会・研究会を開催致しております。本年は、名古屋大会最終日の3月29日、名古屋港木材倉庫(株)の見学会を開催致しました。参考までに過去10年間の研究会の開催状況を記しますが、木材産業の現状を肌で感じ今後の木材機械加工研究に活かすべく、研究会の内容は見学会を中心としたものとなっております。

◆2006年

「秋田におけるスギの合板への利用に関する講演・見学会」

講演者：阿部雅弘（秋田県北秋田地域振興局）、見学会：秋田プライウッド(株)

◆2007年

「ベイマツ製材工場・集成材工場見学会」 見学先：中国木材(株)

◆2008年

「プレカット工場見学会」 見学先：ポラテック(株)

◆2009年

「見学会：日本の伝統刃物を知る」 見学先：辰野町 栗林博物館

◆2010年

「宮崎県地場産業見学会」 見学先：持永木材(株)、(株)荒牧武道具木工所

◆2011年

震災のため中止

◆2012年

「木工教材メーカー見学会」 見学先：広教資材(株)

◆2013年

「機械加工研究ノート」 講演者：奥村正悟（京都大学大学院農学研究科）

◆2014年

「国産材製材工場見学会」 見学先：八幡浜管材協同組合

◆2015年

「木材切削と木工教育の39.5年」 講演者：番匠谷 薫（広島大学大学院）

本年の見学会では、はじめに参加者15名は野間社長より会社の沿革と事業について説明を受けました。名古屋港木材倉庫では大正12年の創業以来、名古屋港地区において木材の倉庫・運送事業を営み、昭和60年からは木質廃材リサイクル事業に着手し、現在の年間木材チップ生産量は10万tを超えているとのことでした。続いて一同は、野間社長の案内で木材チップ工場の見学をさせて頂きました。FIT制度開始以降、木質バイオマス発電の急拡大により木材チップの需給逼迫が課題となる中であって、木材チップ製造の現場を訪問し貴重なお話を伺うことができ、大変有意義な見学会となりました。

今後も機械加工研究会では、見学会や様々な活動を通して産官学の連携を深め、研究会をさらに充実させていきたいと考えております。